

患者さんパンフレット

四国がんセンター
泌尿器科



私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします

- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようにお手伝いします



カバジタキセル療法を 受けられる方へ

_____さま

主治医

受け持ち看護師

2022年6月15日 作成
2026年3月12日 改訂

カバジタキセル療法のスケジュール

1コース（21日間）

治療日数	1	2	3	4	5	6	7	8~14	15~21
カバジタキセル（点滴） 1時間	●								
プレドニン（内服薬）	●	●	●	●	●	●	●	●	●

この他に、アレルギー予防や発熱予防のための注射薬があります

- 抗がん剤を投与したときに、過敏反応が起こることがあります
過敏症状がでたら、早めに点滴を止めることが大切です
- 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気など気分が悪いときは
我慢をしないで、すぐに医療スタッフにお知らせください



治療前の歯科受診について

- ◆ 治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の
歯科診察を行っています
- ◆ 治療前の歯科受診では、以下を行います
 - レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - 歯ブラシだけではとれない細菌の除去
 - 適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆ 通常1～2回の受診で終わることができます

口の中はとても細菌の多い場所です
治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中を
きれいにし細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりとりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
 - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
 - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- * 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- * 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接接触しても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・ **男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう**



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう

- ・トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**



- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - * 使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - * トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう
- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約10日間の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





今日の目標

- ・ 治療の必要性、副作用について理解できる
- ・ 医療スタッフの説明が理解できる

<時間>	<予定>
11:00	入院 【入院後に以下のことを予定しています】
12:00	昼食
18:00	夕食
21:30	消灯

【入院後に以下のことを予定しています】

- ・ 看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）

- ・ 検温、血圧測定、身体測定
- ・ 連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り
- ・ 歯科受診
- ・ 血液検査、尿検査
- ・ 医師、薬剤師より抗がん剤治療の説明があります
- ・ サインをした同意書は看護師にお渡しください
- ・ 午前入院の場合は昼食から提供します
- ・ 初回治療のときは、栄養士より病院食や食事の工夫について説明があります
- ・ 2回目以降、味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください
- ・ わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください

<お薬>

- ・ 他の病院で処方された薬は、一度お預かりします
- ・ 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします

<食事>

- ・ 食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
- ・ 基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります

<睡眠>

- ・ 眠れない場合は安定剤を服用することができます

医療スタッフの目標

- ・ 安心して治療が受けられるように支援します





今日の目標

- 安全に治療を受けることができる
- 治療の副作用について理解できる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 薬を正しく内服することができる

<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	体重測定 朝食
10:00	治療前にトイレに行きましょう 検温、血圧測定 点滴を始めます
12:00	昼食
14:00	検温、血圧測定
18:00	夕食
19:00	検温 血圧測定
21:30	消灯

過敏症、点滴部位の痛み・血管痛、吐き気・嘔吐、便秘
下痢について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

1. 吐き気止め 【15分】
 2. 生理食塩水 100ml 【30分】
 3. 抗がん剤（カバジタキセル）【1時間】
 4. 生理食塩水 50ml 【約5分】
- 点滴が終了したら、針を抜きます

抗がん剤の投与前、投与開始15分後、終了時に、体温、血圧、酸素飽和度を測定します



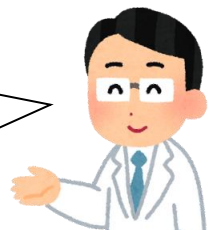
フタをして水を2回流しましょう

点滴終了後シャワー浴ができます
体調に合わせて体を拭くこともできます
看護師がお手伝いします

- プレドニンは、医師の指示どおりに服用しましょう
- 点滴開始後、息が苦しい、胸が苦しい、皮膚が赤くなるなどの症状があらわれたときはすぐに医療スタッフにお知らせください
- 針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、すぐにお知らせください

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 薬を正しく内服することができる

<時間>

<予定>

6:00 起床
検温、血圧測定

7:30 体重測定
朝食



フタをして水を
2回流しましょう

10:00 検温、血圧測定

12:00 昼食

骨髄毒性について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

シャワー浴をしましょう



18:00 夕食

19:00 検温
血圧測定

- プレドニンは、医師の指示どおりに服用しましょう
- 針が入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、すぐにお知らせください
- 吐き気がする場合などは、医療スタッフにご相談ください

21:30 消灯

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 薬を正しく内服することができる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

体重測定
朝食



フタをして水を
2回流しましょう

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

味覚障害・食欲不振、倦怠感、関節痛・筋肉痛について
説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
「関節痛・筋肉痛」ページ参照

18:00

夕食

19:00

検温
血圧測定

21:30

消灯

シャワー浴をしましょう



- プレドニンは、医師の指示どおりに服用しましょう
- 好中球減少症を予防するための注射があります
- 針が入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、すぐにお知らせください
- 吐き気がする場合は、医療スタッフにご相談ください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 薬を正しく内服することができる
- 感染予防行動をとることができる

<時間>

<予定>

6:00 起床
検温、血圧測定

7:30 体重測定
朝食

10:00 検温、血圧測定

12:00 昼食

治療4日目：皮膚障害、爪の障害、浮腫（むくみ）
 治療5日目：口内炎
 治療6日目：息切れ・動悸
 治療7日目：脱毛、神経障害について説明します
 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
 「爪の障害」ページ参照
 「がん治療による脱毛に備えて（頭髪編）」パンフレット参照

18:00 夕食

19:00 検温、血圧測定

体調に合わせて
シャワー浴を
しましょう



21:30 消灯

- プレドニンは、医師の指示どおりに服用しましょう
- 感染予防のため、手洗い、うがい、マスク着用を心がけましょう
37.5℃以上の発熱がある場合は、医療スタッフにお知らせください
- 吐き気がする、ひどい口内炎がある、手足のしびれが強い場合などは、医療スタッフにご相談ください
- 頭痛や強い体の痛みがある場合は、痛み止めを使用することができます

医療スタッフの目標
 • 副作用症状の早期発見に努めます






今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 薬を正しく内服することができる
- 感染予防行動をとることができる
- 退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00	起床 検温、血圧測定	【退院前日】 • 看護師より退院当日の流れと退院後の日常生活について説明があります
7:30	体重測定 朝食	【外来で治療を受けられる方】 • 外来治療についてのオリエンテーションがあります • 通院治療室の説明と見学があります
10:00	検温、血圧測定	
12:00	昼食	
		体調に合わせて シャワー浴を しましょう
18:00	夕食	
19:00	検温、血圧測定	
21:30	消灯	

- プレドニンは、医師の指示どおりに服用しましょう
- 感染予防のため、手洗い、うがい、マスク着用を心がけましょう
37.5℃以上の発熱がある場合は、医療スタッフにお知らせください
- 吐き気がする、ひどい口内炎がある、手足のしびれが強い場合などは、医療スタッフにご相談ください
- 頭痛や強い体の痛みがある場合は、痛み止めを使用することができます

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



退院日 月 日



今日の目標

- 薬を正しく内服することができる
- 退院後の日常生活の注意点について理解できる
- 退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

プレドニンは、医師の指示どおりに服用しましょう

7:30

朝食

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院

退院前に忘れ物がないようにご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

次回外来受診は

月 日 () 時の予定です

外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 退院後の日常生活に不安がないように支援します



カバジタキセル療法（ ）クール目

体調の変化や副作用症状を書きとめていきましょう

	月日			月日	
1 日 目	/			8 日 目	/
2 日 目	/			9 日 目	/
3 日 目	/			10 日 目	/
4 日 目	/			11 日 目	/
5 日 目	/			12 日 目	/
6 日 目	/			13 日 目	/
7 日 目	/			14 日 目	/

体調の変化や副作用症状を書きとめていきましょう

	月日			月日	
15 日 目	／		() 日 目	／	
16 日 目	／		() 日 目	／	
17 日 目	／		() 日 目	／	
18 日 目	／		() 日 目	／	
19 日 目	／		() 日 目	／	
20 日 目	／		() 日 目	／	
21 日 目	／		() 日 目	／	

● 関節痛・筋肉痛

1. 定義

筋肉や関節に痛みが生じることをいいます



2. 筋肉痛・関節痛の時期

投与後3～5日後に症状が現れ、症状のほとんどが一時的なもので数日以内におさまってきます

3. 症状

腰や腕、背中や肩の筋肉に痛みを感じたり、ひざ・ひじの関節などに痛みを感じる場合があります

4. 治療方法

つらいと感じるときは、痛み止めの薬（内服や湿布）を使用して症状の軽減をはかります

5. 予防方法（日常生活の注意点）

- 入浴などで体を温めたり、適度なマッサージで筋肉をほぐし、血行を促進してみましよう
- 同じ姿勢でいると筋肉や骨の萎縮をまねきやすいので、無理のない適度な運動を心がけると良いでしょう

●爪の障害

1. 定義

抗がん剤により皮膚の乾燥が強くなったり、爪の発育に影響を及ぼしたりすることで、爪の変形が生じやすくなることです

2. 症状

爪の変形：凸凹、亀裂、変色、二枚爪などが起こることがあります

症状は抗がん剤治療開始後、2から3クール目以降に出現することがあります

3. 対策と日常生活の注意点

- 乾燥すると爪が割れやすくなるので、ハンドクリームなどの保湿クリームを爪や爪の周りに塗りましょう
- マニキュア等も活用しましょう
爪の変色をカバーするとともに、もろくなった爪を保護してくれる役割があります
※爪が変色している時はマニキュアを重ね塗りをするとより目立ちにくくなりますが、1週間に1回は清潔の保持と爪の観察のため一度落として塗り直しをしましょう
※爪の表面が凸凹していると引っかかり、傷つけやすくなりますのでマニキュアやベースコートを塗ることで、ひび割れなどから爪を守ることができます
- 爪が白くなって浮いてくることがあります
手袋の着用やテープでの保護など日常生活に合わせて使用しましょう
(テープ保護の必要な場合は看護師がお伝えします)
- 爪に亀裂が入ったり変形している時は気づかないうちに引っ掛けて、爪がはがれてしまうことがありますので、爪は伸ばしすぎないようにしましょう
- 爪切りで切ると爪が割れやすくなるので、爪専用のやすり（ネイルファイル）を使う方が良いでしょう
お風呂あがりなど、爪が柔らかいときに行いましょう

●爪の切り方《写真参照》

爪の角（黄色い○印）の部分を皮膚の先の長さまで伸ばし、四角い形に切りそろえます



ポイント

爪の角を切りすぎると深爪により炎症を起こしやすいので注意！

- 爪の周りが痛んだり、腫れや浸出液のあるときにはマニキュア等は避け、看護師や主治医に相談しましょう

退院後の日常生活について

●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう
活動の内容や範囲に制限はありません
感染予防に心がけ、マスク着用、手洗い、うがいをしましょう
白血球が下がっているときは、人混みは避けて、庭の手入れなど土を触る作業はできるだけ控えましょう



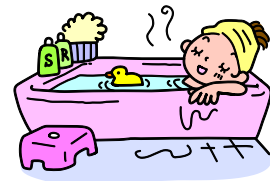
足のしびれが強く日常生活に影響がある場合は、医療スタッフにご相談ください

●食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう
食事ごとに吐いてしまうときは、1～2食、食事は控えてみましょう
この場合も水分はできるだけとりましょう

●清潔

入浴やシャワー浴をして体を清潔にしておきましょう
発熱時やだるさが強い場合は、入浴を控えタオルなどで拭くようにしましょう



皮膚が乾燥していると感染を起こしやすいため、クリームなどで保湿しましょう

歯磨き、うがいをしてお口の中をきれいにしておきましょう
歯ブラシは、小さく毛の柔らかいものを使用しましょう
虫歯、歯肉炎、義歯の不具合などがなければ確認しましょう
歯科治療を希望される場合は、担当医に歯科受診についてご相談ください

●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



プレドニンの影響で以下の症状が出現する場合があります

症状により日常生活に影響がある場合は医療スタッフにご相談ください
★血糖値の上昇、不眠、いろいろ、うつ症状、食欲亢進、制吐作用など

●仕事

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



●その他

定期受診は必ず受けるようにしましょう

インフルエンザなどの予防接種を希望される場合は、担当医にご相談ください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

① 受付



B受付

② 採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆
採血時に注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血しましょう



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

③ 診察受付

A受付

B受付

C受付

S受付

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科
禁煙外来

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

④ 診察

乳腺外科
婦人科
形成外科
頭頸科・甲状腺腫瘍外科
歯科
病理診断科

消化器内科
糖尿病内科
内分泌内科
循環器内科
皮膚科
眼科
精神科
脳神経外科
リンパ浮腫
がんゲノム医療外来

治療決定

S受付

⑤ 治療
通院治療室

看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了



検査や他の診療科で診察のある方は、各受付へ

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

⑥ 会計

予約センターは
B受付の隣です



処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

6番窓口で処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行うため、少し時間がかかります。
- 入室時に、ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料で利用できます。ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- 付き添いは原則ご遠慮いただいております。ご家族の待機場所として「暖だん」や「図書コーナー」などがあります。
- 副作用や日常生活で困っていることや相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。





- 37.5℃を超える発熱が続くとき
- 咳が止まらない日が続くとき
- 吐き気があり、水分や食事がほとんどとれない日が続くとき
- 圧迫しても傷口からの出血が止まらないとき
- 体を起こすことができないほどのだるさが続くとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13:00~17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



カバジタキセル療法を受けられる方へ